

平成27年度 猪名川町・小学校 学習到達度調査の結果について

■ 調査目的

- 猪名川町立小学校の児童の学習状況を調査し、領域、観点、基礎・活用及び小問ごとにその結果を示すことにより、学習指導上の問題点及び改善点を明らかにする。

■ 調査内容

- 調査の目的に基づき、学習指導要領に定める内容のうち、ペーパーテストで調査を行うことが適当なものについて学力調査を実施した。

■ 調査対象

- 猪名川町内の公立小学校5年生の児童
- 調査対象教科は、国語・算数

■ 調査日

- 平成27年4月21日（火）

■ 調査結果

【小学校の調査結果】

		猪名川町全体 正答率 (%)	全国平均 正答率 (%)	目標値 (%)	全国平均 との差	受験者数
小学校 5年生	国語	69.3	70.9	67.7	▲ 1.6	367
	算数	65.8	69.8	68.2	▲ 4.0	367

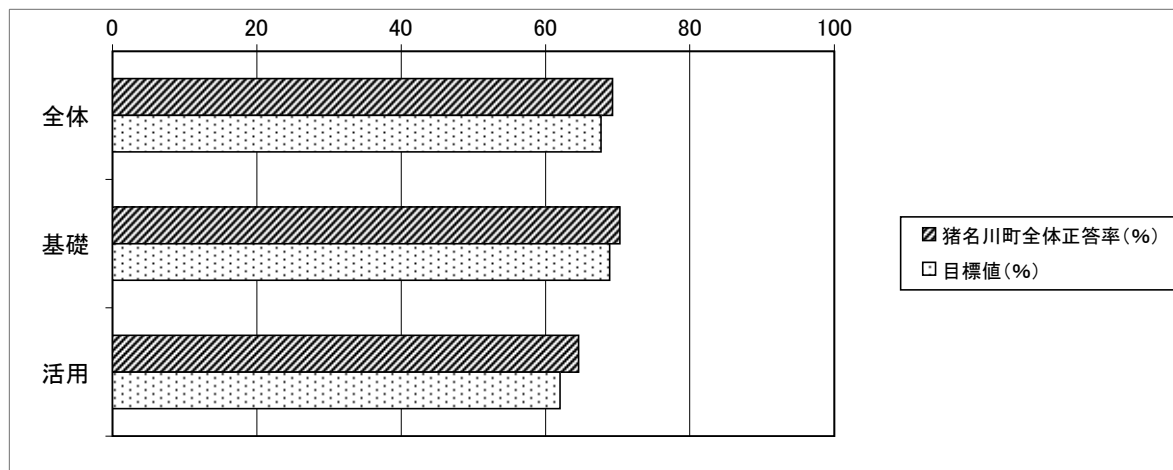
*「目標値」とは、学習指導要領に示された内容について標準的な時間をかけて学んだ場合、設問ごとに正答できることを期待した児童・生徒の割合。出題の形式や解答の形式により、難易度を算出する。

町全体の正答率は、国語・算数ともに、全国平均とほぼ同程度である。

■小学校5年生 国語

(1) 基礎・活用正答率

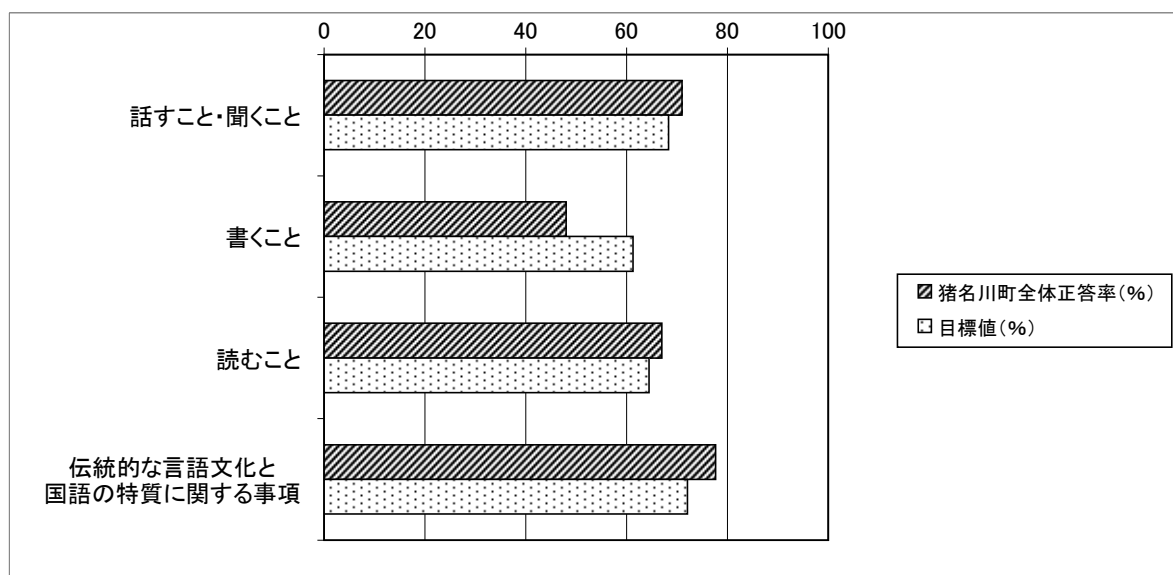
	全体	基礎	活用
猪名川町全体正答率(%)	69.3	70.3	64.6
目標値(%)	67.7	68.9	62.0
目標値との差	1.6	1.4	2.6



基礎・活用別に見ると、基礎問題は70.3%、活用問題については64.6%と目標値と同程度であり、良好な状態である。
問題の内容別に見ると、昨年度課題であった「言葉の学習」が改善傾向にあるが、「作文」に課題がある。

(2) 領域別正答率

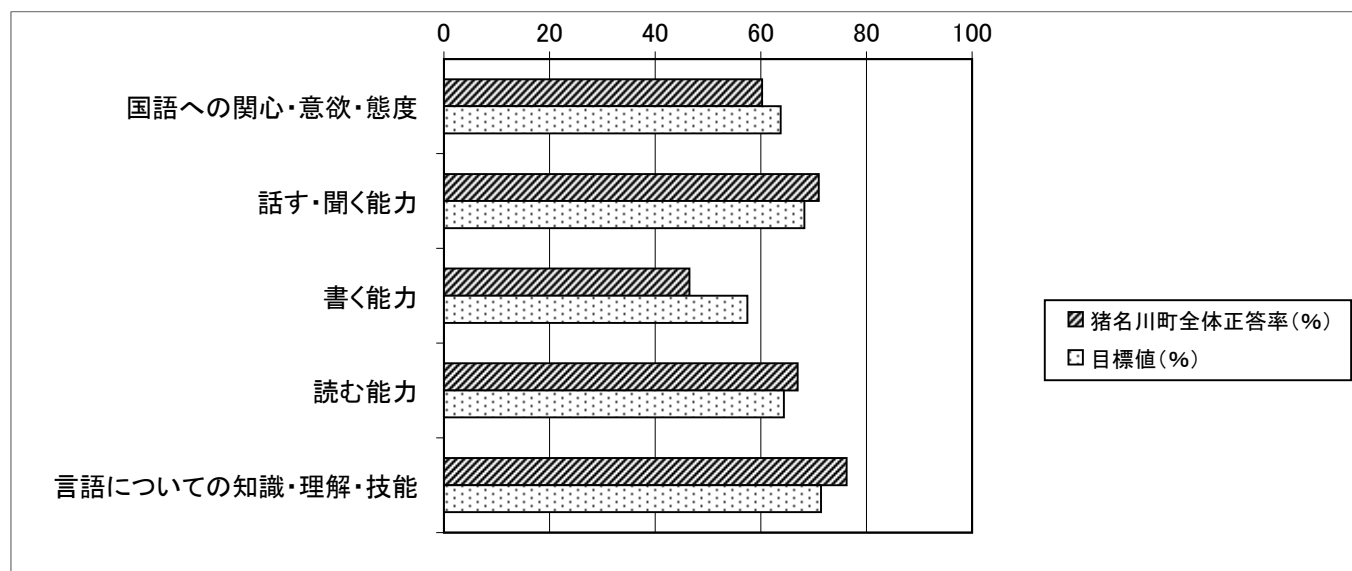
	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
猪名川町全体正答率(%)	71.0	48.0	67.0	77.7
目標値(%)	68.3	61.3	64.4	72.1
目標値との差	2.7	▲ 13.3	2.6	5.6



領域別に見ると、「話すこと・聞くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は目標値を上回り良好であるが、「書くこと」は目標値を大きく下回っており、課題がある。

(3) 観点別正答率

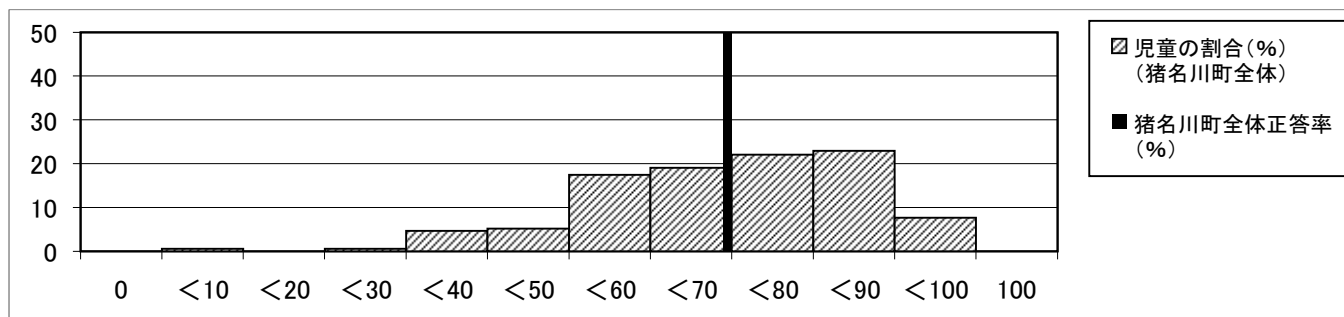
	猪名川町全体正答率 (%)	目標値 (%)	目標値との差
国語への関心・意欲・態度	60.3	63.8	▲ 3.5
話す・聞く能力	71.0	68.3	2.7
書く能力	46.5	57.5	▲ 11.0
読む能力	67.0	64.4	2.6
言語についての知識・理解・技能	76.3	71.4	4.9



観点別に見ると、「話す・聞く能力」「読む能力」「言語についての知識・理解・技能」は目標値を上回り良好であるが、「書く能力」は目標値を大きく下回っており、課題がある。

(4) 正答率度数分布

正答率 (%)	0	<10	<20	<30	<40	<50	<60	<70	<80	<90	<100	100
児童の割合 (%) (猪名川町全体)	0.0	0.5	0.0	0.5	4.6	5.2	17.4	19.1	22.1	22.9	7.6	0.0



町全体で、正答率80%以上の児童が30.5%と、昨年度の29.1%を上回って良好である。一方、正答率50%未満の児童は10.8%と、昨年度12.8%より減少している。上位層が増加し、下位層は減少し、良好な傾向にある。

(5) 課題のある小問についての分析

大問1(3)

【話し合いの内容を聞き取る】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率(%)	29.2	35.0	▲ 5.8	32.6	▲ 3.4
出題のねらい	互いの考えの相違点や共通点を考えながら、進んで話し合おうとすることができる。				
対策	本問では、「意見」としてのテキストから、二人の発表者の考えの共通点を押さえることが求められていることを理解して、さらに条件に合うように整理して書かなくてはならない。まずは、どんな問い方であっても対応できるように、聞く力そのものを高めていくことが大切である。そのためには、単にメモを取らせるだけでなく、どのような点にポイントを置いてメモしていくのかということを見事にしっかりと理解させていかなくてはならない。				

大問3(2)

【言葉の学習】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率(%)	30.8	40.0	▲ 9.2	32.0	▲ 1.2
出題のねらい	文の構成(連用修飾語)について理解している。				
対策	どの言葉がどの言葉を詳しく説明しているのかという文の構造について理解することは、文章を書くときや、文章の内容を正しく読み取るときにも必要である。視覚的に分かる、言葉の関係の図を用いて、どの言葉がどの言葉にかかっているのか、文の構造を理解させることが大切である。また、簡単な文の空欄に、様々な修飾語を入れる練習を積ませることも有効である。				

大問5(3)

【説明文の内容を読み取る】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率(%)	38.4	45.0	▲ 6.6	37.8	0.6
出題のねらい	段落の役割を理解して、文章の内容を的確に読み取ることができる。				
対策	文章の内容を的確に理解して、文章全体の段落構成について考えることができるかを見る問題である。本問の文章は、「ヒト」の特徴について、「四本あしの動物」と比較して説明している。(1)(2)で文章の内容について理解していれば、前半が体の向きの変え方について、後半が「むね」や「はら」について書いてあることが分かる。段落の役割や相互の関係については、内容を理解すると同時に、自分が文章を書く際の構成にもつながるので、丁寧に指導していきたい。				

大問7

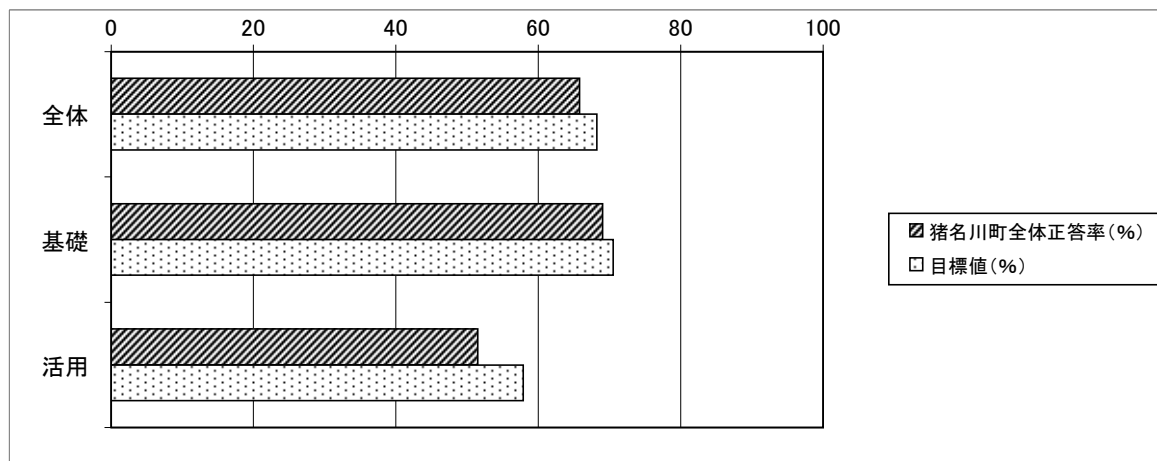
【作文】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率(%)	39.2	55.0	▲ 15.8	50.0	▲ 10.8
出題のねらい	目的や必要に応じて、取材内容と、取材者としての感想をまとめた文章を書くことができる。				
対策	本問は、第二段落に、「取材をしたクラスメイトの話と、取材者としての感想」を書くことができるかを見る問題である。目的や必要に応じて、まとめた文章を書くことが重要である。日頃から授業の中で、学習している文章が何の目的で書かれているものなのかを意識したり、学習の見通しをもって授業に取り組んだりすることを、きちんと指導していくことが必要である。				

■小学校5年生 算数

(1) 基礎・活用正答率

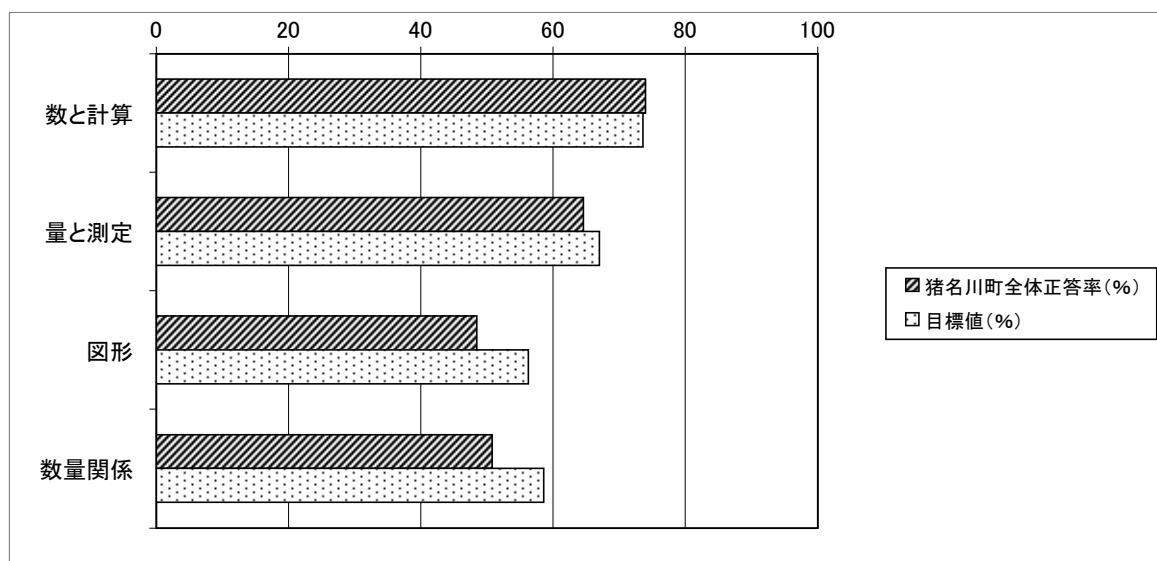
	全体	基礎	活用
猪名川町全体正答率(%)	65.8	69.0	51.5
目標値(%)	68.2	70.5	57.9
目標値との差	▲ 2.4	▲ 1.5	▲ 6.4



基礎・活用別に見ると、基礎問題は69.0%と目標値と同程度であるが、活用問題は51.5%と目標値を6.5%下回っており、課題がある。
問題の内容別に見ると、「面積」「いろいろな形」「計算のきまり・変わり方調べ」と「折れ線グラフと表」に課題がある。

(2) 領域別正答率

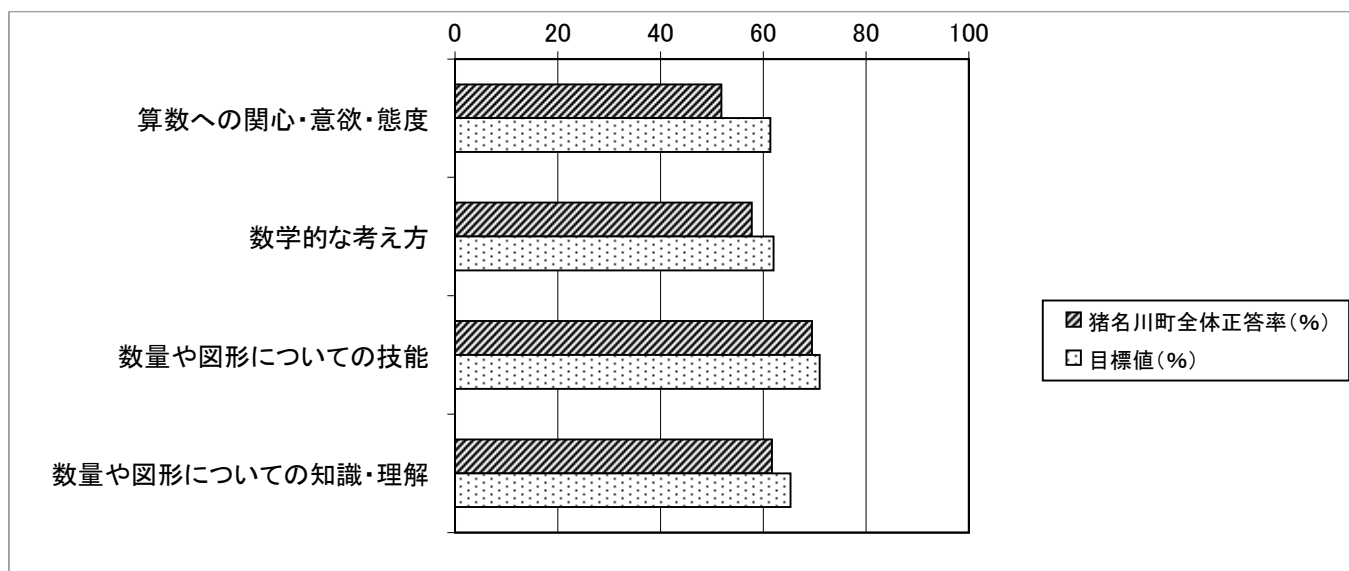
	数と計算	量と測定	図形	数量関係
猪名川町全体正答率(%)	74.0	64.6	48.5	50.8
目標値(%)	73.6	67.0	56.3	58.6
目標値との差	0.4	▲ 2.4	▲ 7.8	▲ 7.8



領域別に見ると、「数と計算」「量と測定」は目標値と同程度であるが、「図形」「数量関係」は目標値を下回っており、課題がある。

(3) 観点別正答率

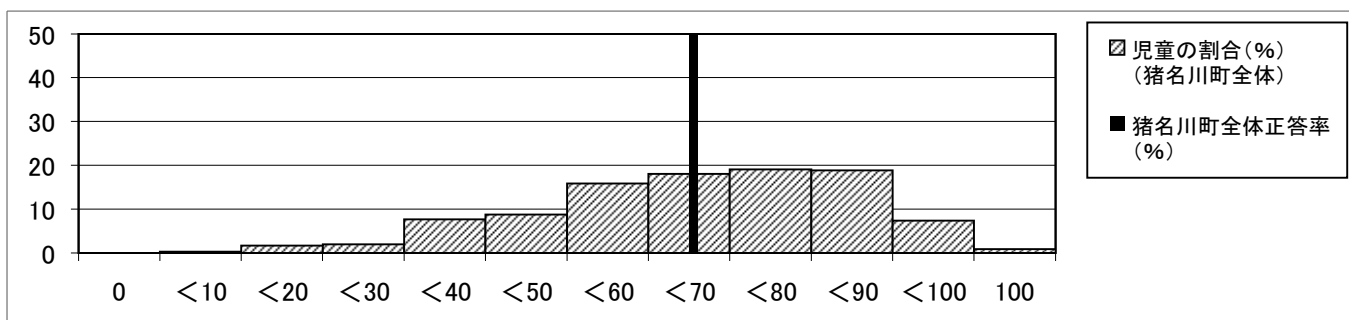
	猪名川町全体正答率 (%)	目標値 (%)	目標値との差
算数への関心・意欲・態度	51.9	61.4	▲ 9.5
数学的な考え方	57.8	62.0	▲ 4.2
数量や図形についての技能	69.5	71.0	▲ 1.5
数量や図形についての知識・理解	61.7	65.3	▲ 3.6



観点別に見ると、「算数への関心・意欲・態度」で目標値を下回っており、課題がある。

(4) 正答率度数分布

正答率 (%)	0	<10	<20	<30	<40	<50	<60	<70	<80	<90	<100	100
児童の割合 (%) (猪名川町全体)	0.0	0.3	1.6	1.9	7.6	8.7	15.8	18.0	19.1	18.8	7.4	0.8



町全体で、正答率80%以上の児童が27.0%と、昨年度の29.8%を下回っている。
また、正答率50%未満の児童は20.1%と、昨年度の22.3%より減少している。
上位層、下位層とも減少し、中位層に固まっている傾向にある。

(5) 課題のある小問についての分析

大問5

【分数】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率 (%)	65.7	70.0	▲ 4.3	70.4	▲ 4.7
出題のねらい	仮分数、真分数、整数、帯分数を大小順に並べることができる。				
対策	誤答の原因としては、仮分数と帯分数の関係を理解していないことや、分数と1の関係を理解していないことが考えられる。分数の指導に当たっては、数直線を用いて、単位分数のいくつ分という見方や、1などの整数との関係を関連付けて指導することが必要である。				

大問9

【計算のきまり・変わり方調べ】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率 (%)	53.7	70.0	▲ 16.3	66.3	▲ 12.6
出題のねらい	四則の混じった式の計算順序を理解している。				
対策	四則混合計算の順序を問う問題であるが、乗除→加減の順番で計算すべきことをきちんと理解できていないことが伺える。この計算の順序は、今後計算をしていく上で、基本となるきまりである。小学校のうちに、乗除を加減より先に計算すること、また()のある場合は、()の中を先に計算することなどのきまりを十分理解させる必要がある。				

大問12(2)

【面積】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率 (%)	28.1	40.0	▲ 11.9	37.7	▲ 9.6
出題のねらい	身近にあるものの面積を推察することができる。				
対策	身近な物の面積を推察できるようにするには、基本単位の量感をもつことが大切である。1cm ² 、1m ² など、同じ1でも単位によって面積は異なってくる。1cm ² は人差し指の爪の面積、1m ² は新聞紙を全面に広げた2枚分より少し大きい面積など、身近なものに置き換えて覚えさせることが大切である。また、1cm×1cmの正方形、1m×1mの正方形など、長さ×長さに置き換えて、およその大きさをつかませる工夫も必要である。				

大問18

【いろいろな形】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率 (%)	11.2	30.0	▲ 18.8	16.0	▲ 4.8
出題のねらい	ひし形の性質を理解している。				
対策	本問のように、図形において理由を説明することは、論理的な思考力を育て、中学校の論証の学習の素地となる。本問の場合、二等辺三角形の2辺が等しいことを基に、ひし形の定義に当てはまることを説明する。そのためには、図形の構成要素である辺の長さや角の大きさに着目し、それぞれの図形の定義や性質をよく理解すること、1つの図形を他の図形の組み合わせと見るなど、図形に対する豊かな感覚を育てる指導をすることが大切である。				